

学位論文審査の結果の要旨

Ousmane Diene

本研究では、*Pseudosigmoidea* sp. および *Helminthosporium velutinum* 等の新たなエンドファイトとしての菌種や *Leptodontidium orchidicola* および *Meliniomyces variabilis* 等の日本での分布が新たに確認された菌種を供試して、その環境浄化や作物への最適な利用方法を検討した。まずは、*H. velutinum* に焦点をあて、今まで明らかになっていないスイートソルガムの生育促進効果が明らかとなった。また、分離した *Pseudosigmoidea* sp. は新種であることが明らかになり、*Pseudosigmoidea ibarakiensis* と命名した。さらに、Cd や Cs に汚染された環境下であっても、エンドファイトを利用することで作物栽培が可能となる新知見を得た。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有し、論文の内容、構成、そしてレフェリー制の確立している学術誌に3報以上掲載されていること、および公表論文と論文本体の内容の照会、既発表論文が学位論文を構成するものであることから、本論文審査委員会は、一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値がある者と判断し、合格と判定した。なお、審査員から学位論文名の英文表記に関して意見があり、変更となっている。

変更前

Potential of dark septate endophytic fungi in promoting plant growth under cadmium and cesium contaminated environmental conditions

変更後

Potential of dark septate endophytic fungi for promoting plant growth under specific conditions of organic nitrogen, acidic pH, and metal pollutant contamination